

すくすくみどり

No.9 庭植え果樹大好き!!



この小冊子は再生紙を使用しています。

編集・発行／財団法人札幌市公園緑化協会

(財)札幌市公園緑化協会



【はじめに】

花や緑は私たちの目を楽しませ、心身をリラックスさせてくれます。

その中でも果樹は、花も実も楽しむことができるということもあり、小さい子供からお年寄りまで幅広く人気のある植物といえますし、市内の書店でも果樹栽培についての解説書が数多く販売されています。

しかし、私たちが住む街札幌は気候条件が本州と大きく異なるため、書店で売られている本州向け果樹栽培の解説書では当てはまらないことも多くあります。

長く寒い冬、遅い春、梅雨のないさわやかな初夏、涼しい夏、短い秋など、果樹だけではなく園芸全般にとって不利とも有利ともいえる環境と条件が、北国札幌にとっては果樹栽培における重要なポイントになります。

この小冊子は北国札幌の条件下における庭植え果樹栽培のいくつかについて取り上げ、これから果樹栽培を楽しまれる方々に平易な手引書として活用していただくことを願って作成しました。

果樹園芸を楽しまれる方が、この小冊子を有効に活用していただき、果樹と共に花と緑あふれる家庭、いつでも、どこでも花と緑、上、そして自然とふれあうことができる環境づくりの第一歩としていただければ幸いです。

なお、この小冊子の作成に当たりましては、皆様からいただいた募金（札幌市都市緑化基金）の果実（利子）の一部を使わせていただきました。

紙面で失礼ではありますが、ご協力いただいた皆様への感謝とともに、さらなる札幌市都市緑化基金積立へのご協力をお願い申し上げます。

この小冊子の内容をもっと詳しく知りたい、他の花や植物について知りたいという方は、「緑の相談」(P32～33)をご利用ください。
専門の相談員があなたの質問にお答えします。

表紙 第30回緑の絵コンクール（平成8年度実施）
大賞 尾形 尚子さん（札幌市立西岡南小学校6年）

【目次】

果樹の植え方・育て方……………2～9

- 家庭果樹の種類選びのポイント
- こんな苗木を選びましょう
- 果樹の受粉と結実性
- 日当たり
- 土壌条件
- 植え付け
- 肥料
- 病害虫
- 休眠期の薬剤防除（石灰硫黄合剤の使い方）
- せん定
- 果樹類の主な病害虫と防除薬剤
- 結果習性

枝の名称……………10～11

樹形のいろいろ……………12

果樹園芸用語の手引き……………13

リンゴ……………14～15

ウメ……………16～17

ナシ……………18～19

モモ……………20～21

スモモ……………22～23

オウトウ（サクランボ）……………24～25

ブドウ……………26～27

ブルーベリー……………28

ハスカップ（クロミノウグイスカグラ）……………29

カーランツ（フサスグリ・カリンズ）……………30

マルメロ……………31

緑の相談……………32～33

サツポロさとらんど……………34～36

サツポロさとらんど市民農園の案内……………37

札幌市都市緑化基金……………38～40

果樹も生き物ですから、生育の度合いについては植え付け場所や天候などの自然状態に大きく左右されるほか、管理の状態などによっても変わることがありますので、本書はあくまでもひとつの目安として管理に一旦大凝らしてみてください。

果樹の植え方・育て方

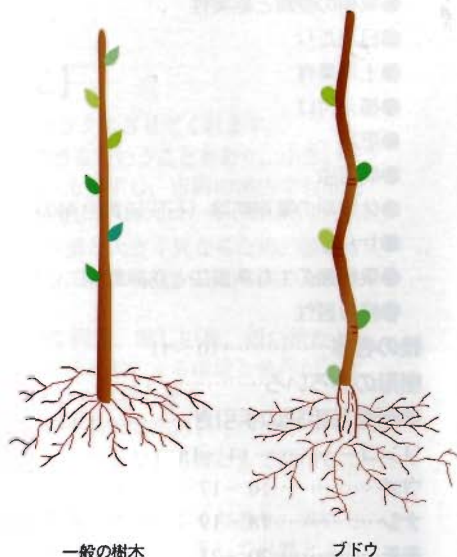
家庭果樹の種類選びのポイント

〈ここが重要!! よく考えましょう〉

- ①植える場所に制約されます
日当たり、広さにより樹種を決めます
- ②実なりのよいもの
- ③つくりやすいもの
病害虫が少なく、管理が容易なもの

こんな苗木を選びましょう

- 幹はだの色つやがよいもの
- 適当に太く間伸びしていないもの
- 節間が短く、根の基部がしっかりしたもの
- 根や接ぎ木部にカビやコブなどの病害虫がついていないもの
- 店頭の管理がよいもの（枝や根が乾いていない、品種ラベルがついている、など）
- ブドウの場合は幹が直線形よりも、ジグザグで芽が大きく切り口が丸いもの
- 狭い庭には矮性台木に接ぎ木した苗がよいでしょう



果樹の受粉と結実性

果樹は1本の樹でもよく結実するもの（自家結実性）と、他品種の花粉を受粉しないと結実しないもの、また、特定の品種の花粉でないと結実しないものなど、種類や品種によりいろいろなケースがあります。

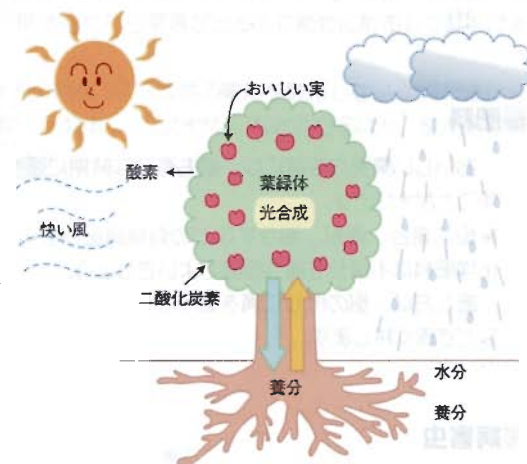
1本植えて結実する種類、品種は、ナシでは千両、ウメでは豊後、モモでは大久保、白鳳、ブドウでは巨峰、ブライTONを除く各種、プラムではビューティなどのほか、小果樹類などです。これ以外の多くの種類、品種は自家不結実性のため、必ず異品種を混植しなければなりませんし、品種の組み合わせによっては不結実性の場合もあるので、品種の選定には注意しましょう。

庭植え果樹は一度植え付けるとずっとその場で生育することになるので、植え付け場所とその土壌はおいしい果実を作るにあたっては大変重要な問題です。

日当たり

多くの果樹は日当たりのよい場所を好みます。また、日当たりがよく風通しのよい場所では、より健全に生育し、果実もより大きくおいしくなります。

日当たりが十分でない場合は、大果樹よりも小果樹の方が半日陰地でも比較的花芽がよくつくので、小果樹を植える方がよいでしょう。

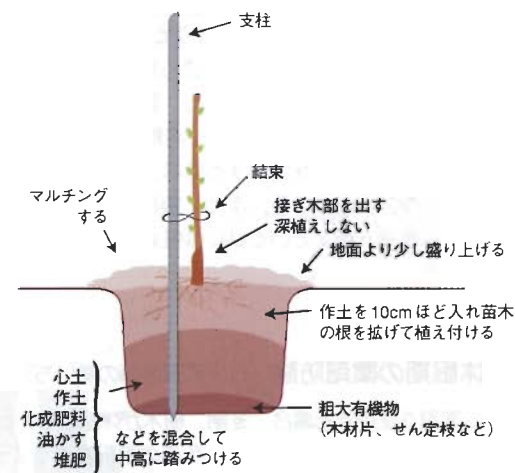


土壌条件

土壌の種類を問わず、根が深く伸びる土であるかどうか重要です。そのためには排水、保水が良好で、空気と有機物を多く含んだ膨軟な土が理想です。

植え付け

- 植え穴は作土と心土に分けて、大果樹で直径50～60cm、深さ40～50cm、小果樹で直径40cm、深さ30cmほど掘り返し、ピートモス、バーク堆肥、腐葉土などの有機物を土中に混ぜるなど、土壌改良に努めましょう
- 苗木は根を一昼夜水に浸して植えます
- 接ぎ木苗では、接ぎ木部のビニールテープを取り除いてから植えます



- 浅植えにし、接ぎ木部が地上7～10cmほどのところを出るようにして、根は四方に広げます
- 土の中にしっかり支柱を立て、支柱と苗木をひもで結ぶなどして固定します
- 苗の上部1/3くらいの位置で切り詰めます（ブドウは3～4芽残して切る）
- 植え付け後、根元にわらやピートモスのほか、草などを刈って敷きます（「マルチング」といいます）→効果は①乾燥を防ぐ②土を肥やす③土が固まるのを防ぐ④夏、地温が上がるのを防ぐなど

肥料

おいしい果実の収穫には、最も有効な時期に適度な量を施すことが大切です。

果樹の場合、骨粉、油かすなどの有機質肥料を中心にして、化学肥料は不足分を補う程度でよいでしょう。

施し方は、樹の周りに溝を掘って埋めるか、ばらまいて鍬などで浅く耕します。



病害虫

果実は食べるものなので可能な限り薬剤を使わず、使ったとしても最小限にしたいものです。ただ、病害虫は放っておくと果実の外観や品質を落とし、場合によっては食べられなくなったり、樹勢を弱らせたりすることにもなります。樹全体の風通しをよくするほか、日ごろから手で取れる虫などはこまめに取り、果実に袋をかける、落ち葉、枯れ枝、落果を焼却し、株周りの除草をするなど清耕栽培を心掛けましょう。

どうしても薬剤を使用する時は、薬の種類や使用方法を守り適正に使用しましょう。また、薬剤を使用する場合で、いろいろな樹種を植えている庭には共通に使える薬剤を使用しましょう。

休眠期の薬剤防除（石灰硫黄合剤の使い方）

薬剤を使用する場合、冬期、樹木が休眠している間に、石灰硫黄合剤を散布して病害虫を防除する方法が大変効果的です。散布液の希釈濃度を7～10倍液にし、そのままでは伸展性がよくない

ので必ず展着剤を加えて、木の幹や枝に散布します。

対象は果樹のほか、落葉広葉樹に限ります。イチイ、マツ類などの常緑針葉樹、シャクナゲ、ツバキなどの常緑広葉樹、果樹のうちブドウは薬害の心配があるので散布してはいけません。ただ、特に必要な場合は希釈濃度を20倍に薄めて使用します。

適期は各樹種の芽が膨らみ始めるころ（4月10日～15日）で、このころに病害虫が活動を開始するので防除効果があります。ただし、芽が開き始めたら薬害が出るので絶対に散布してはいけません。

使い方は、①他の薬剤と混合しない②散布の前後10日は他の薬剤を散布しない③希釈液は分解するので保存して使用しない④皮膚、建物、自動車などにかけないなどを守るほか、使用後は噴霧器を薄い酢で洗浄し、さらによく水洗いします。

主な果樹に対する適用病害虫

- リンゴ～黒星病、腐らん病
- オウトウ～灰星病、カイガラムシ、ハマキムシ
- ナシ～黒星病
- ウメ～黒星病、縮葉病、カイガラムシ
- モモ～縮葉病、腐らん病



せん定

樹を手入れせずに放っておくと、高くなりすぎたり、枝が込みすぎて日当たりや風通しも悪くなり花つきが劣ってくるほか、病害虫の発生も多くなります。こうしたことから、丈夫で実成りのよい樹をつくるにはせん定の仕方を知する必要があります。

果樹の場合、せん定を誤るといつまでたっても花も実もつかなくなるので、その品種の結果習性を知ることが大切です。家庭用果樹の場合は樹形そのものにあまりこだわる必要はないでしょうが、コンパクトに育てると管理も楽になります。

せん定にあたっての注意

- どの枝のどの部分に花がつき実がなるか樹種によって違うので、まず結果習性を知ることが大切
- 強く切ればそれだけ反発も大きいので無理には切らない
- 樹の内側全体に日が当たるように枝を配置し、込んでいるところは間引く
- 枝を途中で切る場合は、節と節の間で切るブドウを除き、枝の枯れ込みや病気の侵入を防ぐため、葉のすぐ上か枝のあるところで切る

時期

〈ブドウ〉

晩秋（11月中旬から下旬の根雪前の間）

〈冬期せん定〉

大果樹類（リンゴ、モモ、ナシ、オウトウなど）は2月中旬から3月下旬ころに行いますが、コモなどで困ったモモは4月中旬ころコモを除いた直後とします。

また、大果樹類幼木と小果樹類は融雪後できるだけ早くに行います。

〈夏期せん定〉

ブドウは発芽後に芽かきや摘心、新梢を間引きします。他の果樹も徒長枝を整理する程度とします。



果樹類の主な病害虫と防除薬剤

種 類	害 虫	適用農薬	病 害	適用農薬
リンゴ	ハダニ	エストックス、ケルセン	腐らん病	石灰硫黄合剤、トップジン
	アブラムシ	ダイアジノン、スミチオン	黒点病	オーソサイド、有機銅
	ケムシ	スミチオン、サイアノックス	斑点落葉病	ポリオキシシン、マンゼブ
	シンクイムシ	ダイアジノン、スブラサイド	黒星病	オーソサイド、トップジン
	ハマキムシ	ダイアジノン、スミチオン	褐斑病	オーソサイド
	カイガラムシ	スブラサイド	モニリア病	石灰硫黄合剤、ロニラン
ナ シ	ハダニ	エストックス、ケルセン	黒星病	オーソサイド
	ナシキジラミ	エルサン、スミチオン	赤星病	マンネブダイセン
	シンクイムシ	スミチオン、ダイアジノン	灰星病	トップジン、オーソサイド
ウメ、モモ、スモモ	アブラムシ	エストックス、オルトラン	胸枯病	石灰硫黄合剤
	コスカシバ	スミチオン、DDVP	樹脂病	トップジン
	ウメケムシ	スミチオン、エストックス	縮葉病	石灰硫黄合剤、オーソサイド
	シンクイムシ	ダイアジノン、スミチオン	黒星病	トップジン、オーソサイド
オウトウ	オウトウハバチ	ダイアジノン	ふくろみ病	石灰硫黄合剤、オーソサイド
	オウトウミバエ	ダイアジノン		
	コスカシバ	スミチオン、DDVP	灰星病	オーソサイド、トップジン
ブドウ	スカシクロバ	スミチオン、ダイアジノン	灰色かび病	オーソサイド、トップジン
	ブドウスカシバ	スミチオン、ダイアジノン	もうせん病	石灰硫黄合剤、ケルセン
	ケムシ	スミチオン	褐斑病	オーソサイド
	コガネムシ	スミチオン、カルホス	黒とう病	オーソサイド
小果樹類	アブラムシ	エストックス、スミチオン	晩腐病	トップジン、オーソサイド
	ハダニ	ケルセン	うどんこ病	バイレトン
	ハマキムシ	スミチオン	褐斑病	オーソサイド、ダイセン
	ケムシ	スミチオン、サイアノックス	斑点病	オーソサイド
	カイガラムシ	カルホス、スブラサイド	灰色かび病	オーソサイド、トップジン
			キャンカー	石灰硫黄合剤

農薬名の赤字は「劇物」であることを示しています。

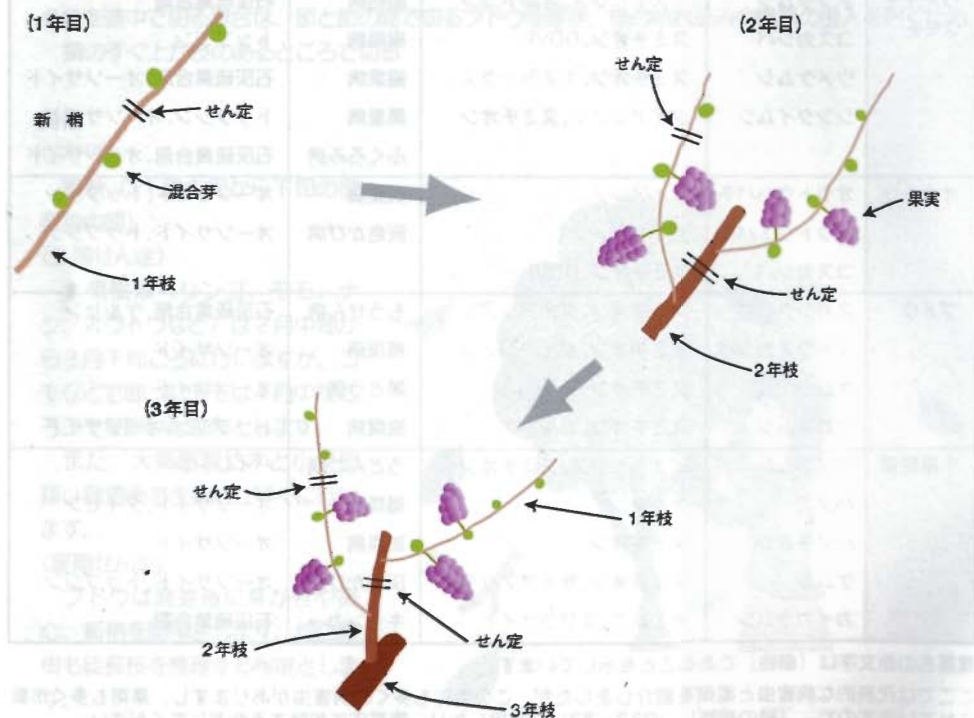
ここでは代表的な病害虫と薬剤を紹介しましたが、この他にも多くの病害虫がありますし、薬剤も多く市販されていますので、「緑の相談」（P32～33）を利用したり、園芸店で相談するなどしてください。

結果習性

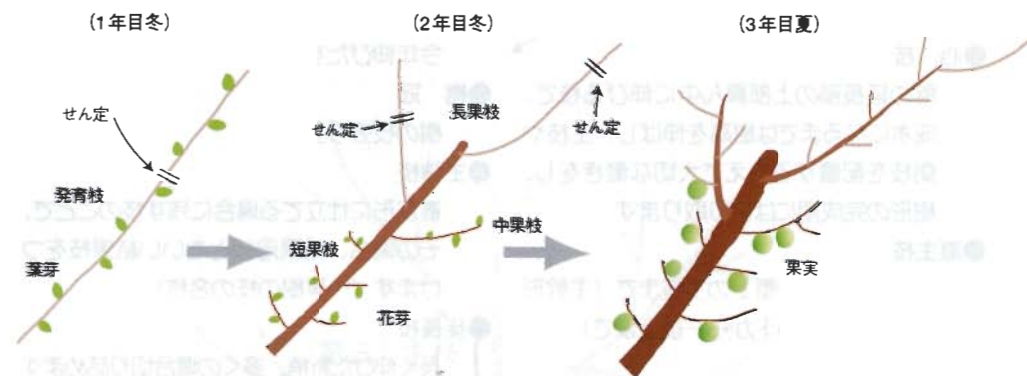
果実類は種類によって、花芽がいつどこにつき、どのような状態で花が咲き、実になるかということは決まっています。これを結果習性といいますが、おおよそ下記のように分類できます。

- ①前年伸びた枝に7月下旬から8月上旬、花芽（花芽は花芽と葉芽を持つ混合芽）を分化し、今年その芽が伸びて新梢上に開花結実するもの。ブドウ、クリなど。
- ②前年新梢の葉腋に花芽（花芽は花のみで葉や枝を持たない）を形成し、今年その芽が開花結実するもの。ウメ、モモ、スモモ、オウトウなど。
- ③前年伸長した枝の芽が、今年わずかに伸び、その先端に花芽（花芽は混合芽で、リンゴは1花芽中に数個の花と、10数枚の葉に1～2本の枝を持つ）を形成し、来年新梢を少し伸ばし、その先端に開花結実するもの。リンゴ、ナシなど。

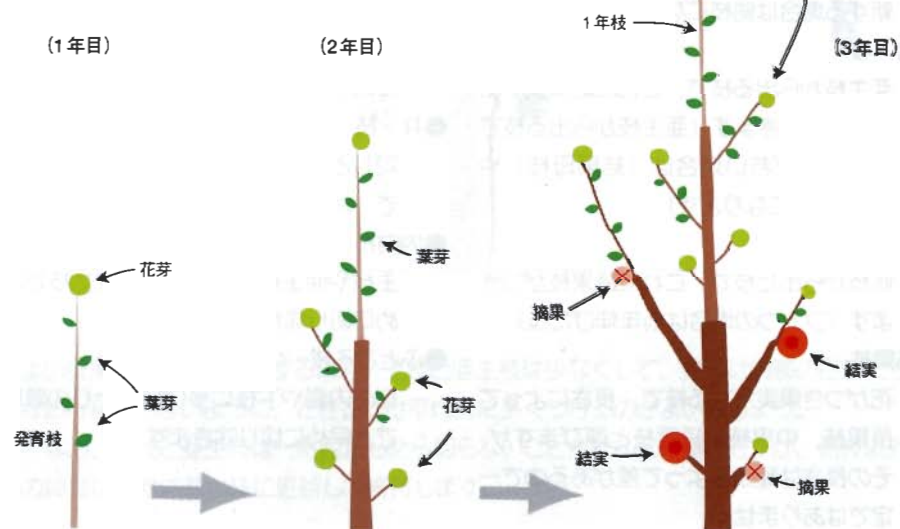
●ブドウの結果習性



●ウメの結果習性

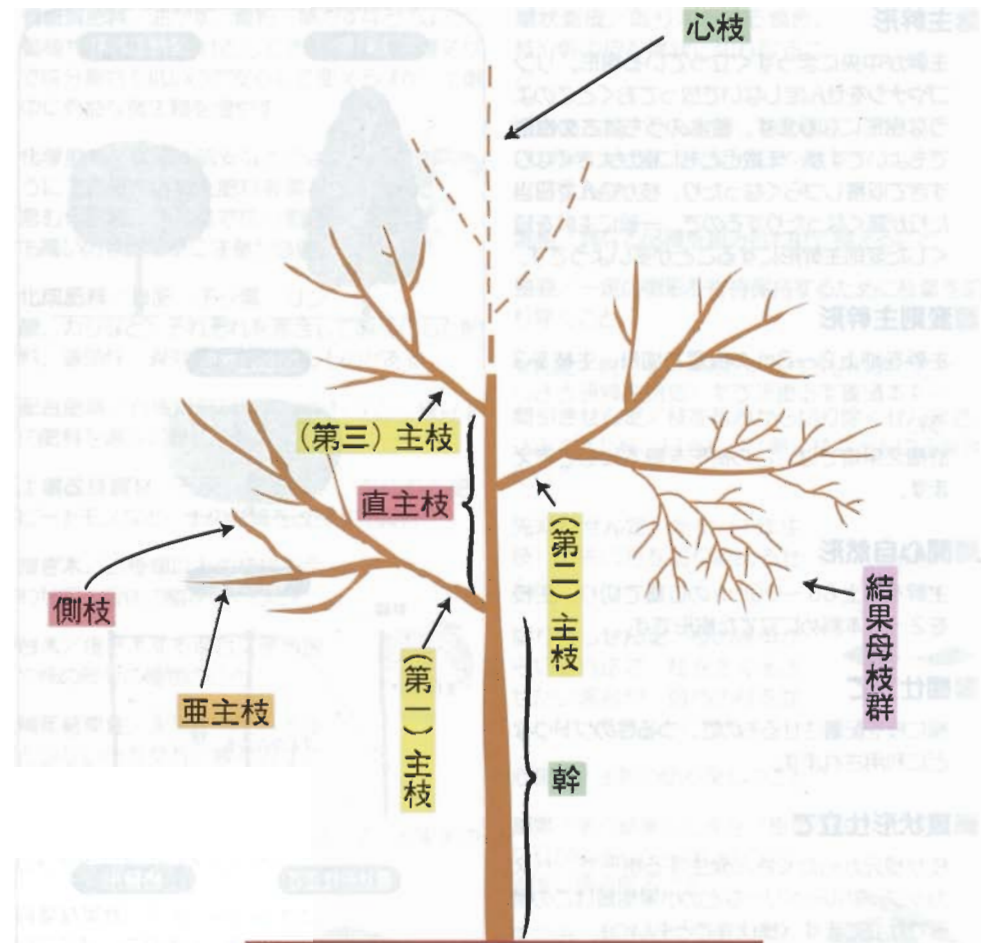


●リンゴの結果習性



枝の名称

- **幹**
地面から一番下の主枝（第一主枝）までのことで、主幹ともいいます
- **心 枝**
幹の延長部の上部真ん中に伸びる枝で、成木になるまでは樹高を伸ばし、主枝や側枝を配置するうえで大切な働きをし、樹形の完成期には切り取ります
- **直主枝**
第一主枝から一番上の主枝まで（主幹形では側枝の一番下から一番上まで）
- **主 枝**
直主枝から斜め上に出る骨組みの枝となる枝で、下の大きい枝から順に「第一主枝」、「第二主枝」……といいます
- **亜主枝**
主枝から出たやや細めの枝で、小型で更新する場合は側枝になります
- **側 枝**
亜主枝から出る枝で、これに結果枝や結果母枝がつきます（亜主枝から出る枝でもまだ樹が若い場合は「結果母枝」や「結果枝」になります）
- **結果母枝**
側枝から出た枝で、これに結果枝がつきます（ブドウの場合は前年伸びた枝）
- **結果枝**
花がつき果実がなる枝で、長さによって長果枝、中果枝、短果枝と呼びますが、その長さは種類によって差があるので一定ではありません
- **発育枝**
今年伸びた枝で葉芽だけをつけた枝
- **新 梢**
今年伸びたすべての1年枝
- **樹 冠**
樹の枝張り全体
- **主軸枝**
叢状形に仕立てる場合に残す枝のことで、その場合、結果母枝ともいい結果枝をつけます（小果樹の枝の名称）
- **徒長枝**
長く伸びた新梢、多くの場合切り詰めます
- **副 梢**
モモやブドウに多く、今年伸びた新しい葉腋から出る枝
- **腋 芽**
葉柄の基部にできる芽のこと
- **車 枝**
同じ高さの位置から出ている枝で、早めに切り除きます
- **共 枝**
同じところから同じ太さで狭状に出た枝で、片方を切り除きます
- **内向枝**
主枝や亜主枝から内側に伸びた枝で、早めに切り除きます
- **ふところ枝**
樹の内側や下枝に多い日当たりの悪い枝で、早めに切り除きます



よい果実をたくさん収穫するには、主枝と亜主枝は少なくして、側枝は内部の日当たりが妨げにならないように、できるだけ平均的に多くつけるのがよいでしょう。

なお、主枝と亜主枝は一度固定したら切らないことがせん定の基本ですが、側枝以外の細枝は適度に若い枝に更新して維持します。

樹形のいろいろ

主幹形

主幹が中央にまっすぐ立っている樹形。リンゴやナシをせん定しないで放っておくとこのような樹形になります。若木のうちはこの樹形でもよいですが、年数とともに樹が大きくなりすぎて収穫しづらくなったり、枝が込んで日当たりが悪くなったりするので、一般に主幹を短くした変則主幹形にすることが多いようです。

変則主幹形

主幹を地上2～3mの位置で切り、主幹を3～4本配置する樹形です（改良主幹形ともいう）。

庭植え果樹では、この樹形を基本にして考えます。

開心自然形

主幹を地上60～90cmの位置で切り、主幹を2～3本斜めに立てた樹形です。

棚仕立て

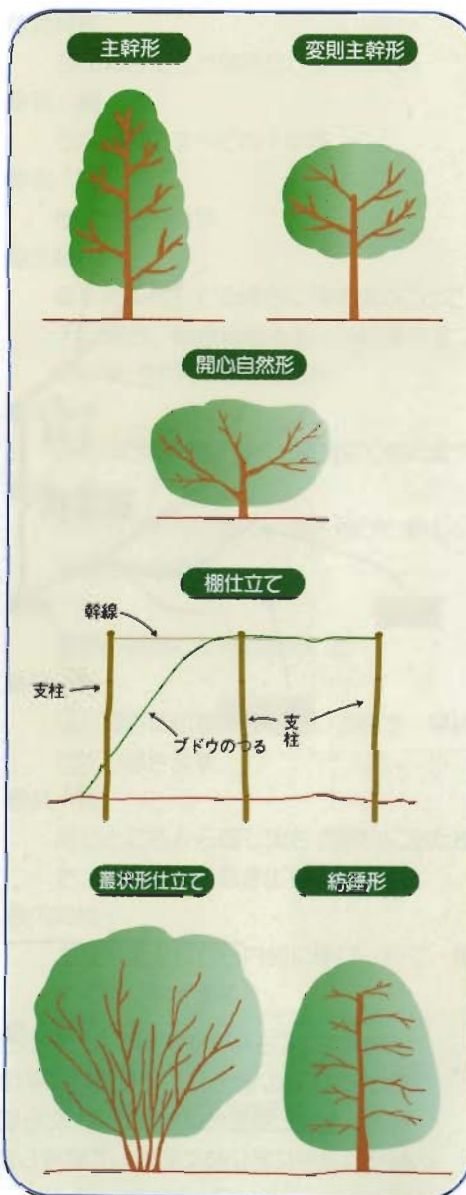
棚に枝を配置させるもので、つる性のブドウなどに利用されます。

叢状形仕立て

枝が根元からたくさん発生する樹形で、ハスカップ、ブルーベリーなどの小果樹類はこの樹形で仕立てます（株仕立てともいう）。

紡錘形（スレンダースピンドルブッシュ形）

近年多くなってきたリンゴやモモなどの矮性樹木の樹形です。主幹形に似ていますが、幹に10数本の側枝（横枝）をつけ、側枝を大きくしないようにして、スマートな紡錘形に仕立てる方法です。



果樹園芸用語の手引き

有機質肥料／油かす、骨粉・魚かすなどのように動植物の原料を素材として作った肥料。緩効性で成分割合も低いので安心して使えるほか、土壌中に有益な微生物を増やす

化学肥料／尿素や硫酸などのように工場生産された肥料要素を含む化合物。速効性で成分割合も高いので使用量に注意が必要

化成肥料／単肥（チッ素、リン酸、カリなど）それぞれを混合して製品化した肥料。速効性、遅効性、緩効性のものがある

配合肥料／有機質肥料や化学肥料など二種以上の肥料を適当に混ぜたもの

土壌改良資材／石灰、苦土石灰、溶成りん肥、ピートモスなど、土の性質を改良する資材

接ぎ木／二種類以上の植物を含ませて一個体の樹をつくること

台木／接ぎ木する場合に使う根や株の部分の植物のこと

隔年結果性／果実の多くなる年と少ない年を交互に繰り返すこと

結果習性／果樹の種類により決まっている果実のなり方や花芽のつき方のこと

自家結実性／自分の花の花粉だけで交配して結実する性質

自家不結実性／他の異なった品種の花粉が交配されないと結実しない性質（他家結実性ともいう）

他家不結実性／他の異なった品種の花粉が交配されても結実しない性質

環状剥皮／取り木をする場合、枝や幹の皮を環状に切り取ること

癒合塗布剤／せん定後、枝の傷口が早く治るように切り口や傷に塗るもの

混植／異なる品種を組み合わせで植えること

整姿／一定の樹形を維持保持するために枝葉を切り除くこと

せん定／樹形をつくるために枝を切り除くこと

間引きせん定／枝を基部から切り除くせん定で、込みすぎた枝、日当たりの悪い枝などを切る場合に行う

先刈りせん定／新梢（1年生枝）の先の方を切り詰めるせん定

切り返しせん定／枝の途中から切る方法で、枝を多く出させたい場合や、弱めの枝を強くしたい場合などに行う

心抜き／主幹の切り戻しのこと

摘果／多く結実した実を（樹勢を弱らせたり、実なりが小さくならないように）適度に摘み取ること

芽つみ／新芽の先を摘み取ること

頂芽／枝の一番先端の芽

矮性／同種類であっても、特に樹高、草丈が低い性質

矮化剤／樹高、草丈を低くするために使う薬剤



リンゴ = バラ科リンゴ属 =



◆主な品種

早生種……祝、紅の舞
 中生種……旭、つがる、あかね
 晩生種……ふじ、王林、ハクナイン、レッドゴールド、北斗、ジョナゴールド

◆植え付け

苗木（幼木）の長さにもよりますが、苗の上部1/3ほどのよい芽の上で切り詰め支柱を立てて結束し、乾燥を防ぐため根元にわらを敷くなどします。

自家不結実性のため他品種を混植します。ただし、ハクナイン、陸奥、ジョナゴールド、北斗は受粉品種に使えません。植え付け間隔は、矮性台木で2m強、大木系で4m弱とします。

◆施肥

春、融雪直後に果樹用化成肥料や配合肥料を樹冠下の全面に施します。秋は、鶏ふん、バーク堆肥などの有機質肥料を施します。また、1年おきに石灰を1株あたり300gほど施します。

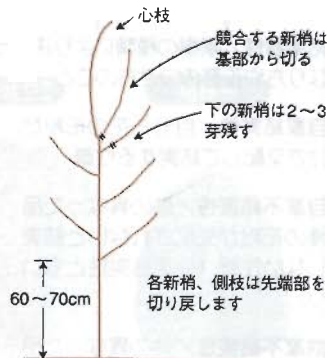
◆せん定

近年多く出回っている矮性台木を使い、紡錘形に仕立てると下記ようになります。

2～3年目……残す心枝と競合する新梢は基部から切り詰め、下の新梢は2～3芽を残して切ります。また、地面から50～60cmまでの位置にある側枝も全部切ります。1m以上伸びている心枝は切り詰め、60cm前後の新梢に切り替え、主枝と競合する強い枝も全部切り落とします。

4年目以降……基本は2～3年目と同じ。強い側枝や側枝から強く伸びている枝、立ち枝、込み枝は切り、全体として弱めの枝で骨組みをつくれます。この時期はかなり枝が込み合ってくるので、樹の内側にも日が当たるように間引きします。

成木……強い枝を切り、充実した短めの枝で樹高3mほどの紡錘形になるようにします。また、長く大きい側枝は更新します。



2～3年目のイメージ

◆摘果

6月中旬から下旬に行います。

残す果実は品種によって多少異なりますが、1果あたりの葉数を50枚程度とします。頂芽から数えて4芽前後が50枚程度ですが、大玉系のは着果数をやや少なめにしましょう。残す果実は中心果、病虫害の被害のない形のよいものとします。

◆袋かけ

摘果した6月下旬から7月上旬、薬剤散布後に袋をかけるとう安全です。袋は収穫の3～4週間前に取り除くと、短期間にアントシアンを発現して無袋果より着色がよくなります。

◆病虫害

主な病虫害：腐らん病、黒星病、赤星病、斑点落葉病、など

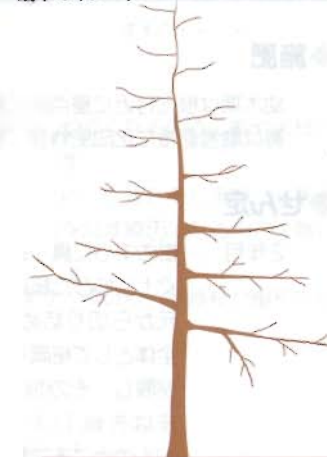
ハダニ類、アブラムシ類、ハマキムシ類、モモシクイガ、など

- ①害虫は少ないうちに捕殺し、樹皮を削って癒合塗布剤を塗ります。
- ②腐らん病は、被害部を完全に切り取るなど、切り口や削り跡に癒合塗布剤を塗ります。除去した被害部、せん定枝は放置せずに焼却処分します。
- ③袋かけをすることによって、モモシクイガが果実に産卵するのを防ぐことができます。
- ④黒星病も落葉の中で越冬するので、落葉を集めて焼却処分します。

4年目のイメージ



成木のイメージ



◆袋かけがいい??

袋かけはモモシクイガ防除のほかに着色向上のために行います。太陽光線の透過しにくい濃い色の袋ほど果皮に葉緑素がでにくくアントシアンが多くなるのでたいへん見かけの良い鮮やかな赤いリンゴになりますが、食味は低下するといわれています。ですから、本当は袋をかけないで太陽光線に十分当たった方がビタミンCの含有量が多くなって、新鮮で美味しいリンゴを楽しむことができますが、あなたはどうしますか……？

ウメ =バラ科サクラ属=



全国的にはたくさんの品種がありますが、道内では耐寒性の問題からウメとアンズとの雑種といわれ自家結実性の高い豊後ウメが多いようです。

ウメ酒に使う場合は、7月中旬ごろ、青ウメの時期に摘果をかねて収穫します。その際、果実の間隔を5～10cmで残しておくと、その後ウメ漬用として収穫できます。

ウメ漬に使う場合は、果皮が黄色く、軟らかくなる8月上旬から中旬ごろに収穫します。

◆ 植え付け

苗木（幼木）の長さにもよりますが、苗の上部1/3ほどの充実した芽のすぐ上で切り、乾燥を防ぐため根元にわらを敷くなどします。混植する場合の間隔は4～5mとします。

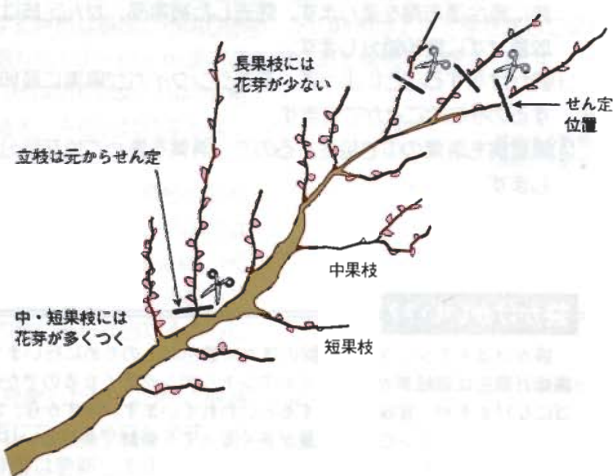
◆ 施肥

幼木期は根元付近に重点的に施し、樹が大きくなるにしたがって枝張りより広めに施します。春は融雪直後に化成肥料を、秋は10月下旬から11月中旬ごろに有機質肥料を施します。

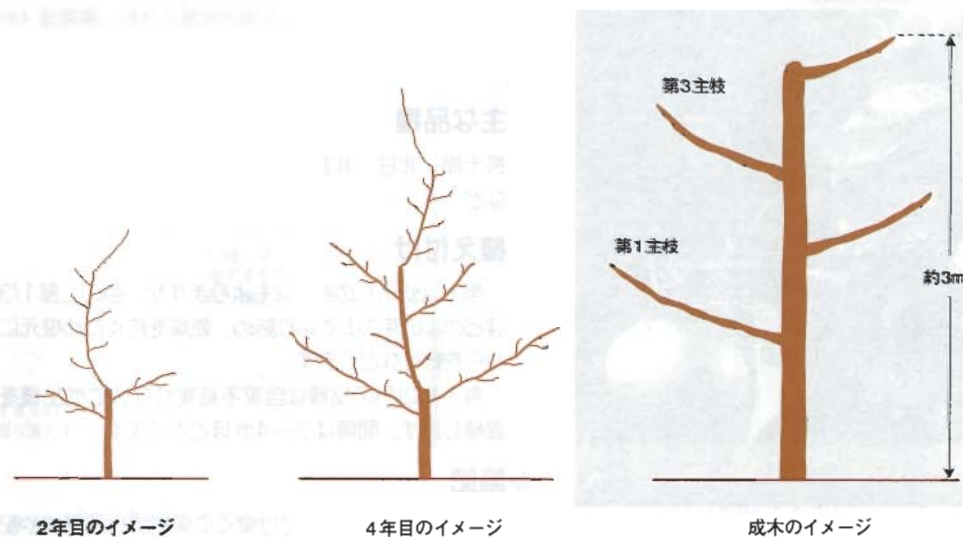
◆ せん定

2年目……樹の中心に真っ直ぐ上に伸びた枝は元から切り詰め、全体として樹高を制限し、その他の枝は先端1/3～1/4のところで軽く切る程度にします。

3年目……そろそろ主枝を決定するようにし、強い枝は元から切り除きますが、その他の枝は先端を軽く切る程度にして整えます。また、



ウメのせん定



2年目のイメージ

4年目のイメージ

成木のイメージ

徒長枝を放っておくとアブラムシや黒星病などが発生しやすくなるので、幹や大枝の徒長枝は6月に入ってできるだけ早めに手でかき取ります。

4～5年目……一番上の主枝に花芽がついて枝の生育が落ち着いたら、心抜きをします。心抜きの高さは2.5～3mを目安とします。徒長枝が特に樹形を乱す原因になるので注意します。

成木……3～5本の主枝を目安とする変則主幹形を目標にします。やはり、徒長枝が樹形を乱し全体の日当たりも悪くするので注意します。

◆ 摘果

満開後30日前後に行い、3～4cmの間隔で果実を残すとよいでしょう。

◆ 病害虫

黒星病……花の散る5月中旬と、落花1週間後の5月下旬ごろが防除適期です。

モモシクイガ……5～6月の気温が高ければ6月下旬から、普通の気温であれば7月上旬から発生しやすいので注意しましょう。

ナ シ =バラ科ナシ属=



昔、ナシは「無し」に通じる忌み言葉とされ、果実は「有りの実」とも呼ばれていました。

◆主な品種

長十郎、北甘、北豊、身不知（千両）、パートレットなど

◆植え付け

苗木（幼木）の長さにもよりますが、苗の上部1/3ほどのよい芽の上で切り詰め、乾燥を防ぐため根元にわらを敷くなどします。

身不知以外の品種は自家不結実性なので他品種を混植します。間隔は3～4mほどとります。

◆施肥

春、融雪直後のできるだけ早くに果樹用化成肥料や配合肥料を施し、7月上旬に化成肥料を追肥します。

秋は11月上旬から中旬に、鶏ふん、落葉、バーク堆肥などの有機質肥料を施すとよいでしょう。樹が小さいうちは幹の周りに浅く施します。次第に根が広がってくるので、樹冠よりやや広めにばらまいて軽く耕します。

◆結果習性

1年枝（発育枝）の腋芽が伸びて結果枝（短い枝）になり、その頂芽に花芽がつきます。パートレットなどの西洋ナシは一度結実すると、続けて花芽がつきにくいので、結果枝を更新してやります。

◆せん定

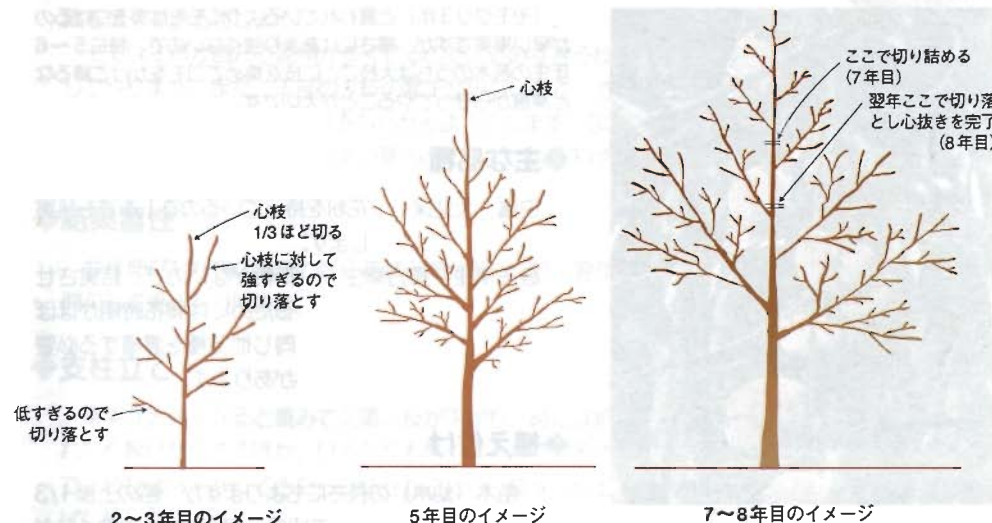
成木では樹形の維持と結果部の更新、多すぎる花芽の整理などが主体となります。込みすぎる枝や性質の悪い枝を間引き、長く伸びすぎた発育枝は先刈りします。発育枝は4～5芽ほど残して切り詰めると枝の基部に花芽ができます。花芽が出たら2芽残して上部を切り除いてやります。花芽が出なかった枝は、再び4～5芽ほど残して切ると花芽をつけます。

このほか、徒長枝が発生しやすいですが、古枝の更新や芽接ぎに使う以外は6月上旬ごろに手でかき取ります。

比較的小コンパクトに育てられる変則主幹形を目標にすると下記のように育てます。

2～3年目……樹なりに育て、心枝と競合する枝は切り落とし、心枝と長めの側枝は1/3ほど切り詰めます。

5年目……幹との角度が45度くらいで方向が重ならない枝を5～7本ほど主枝候補枝として選び、先端から1/3ほど切り詰めます。



2～3年目のイメージ

5年目のイメージ

7～8年目のイメージ

7～8年目……樹形が固まるころなので心枝を切って樹高を決定し、主枝の数も3～4本ほどに整理します。

◆摘果

時期は花後3週間後の6月中旬から下旬で、このころの果実の大きさは親指位でしょう。一つの花芽に3～5個の果実がなりますが、一つの花芽に1個の側果を残すとともに、樹全体のならせる数を制限します。

枝の強さや品種によって異なりますが、20cmほどの間隔で果実を残します。日当たりの悪い部分、枝や樹が弱っている場合や、身不知などのように果実が大きい品種の場合は間隔をやや広くします。

◆袋かけ

摘果後すぐに始めて7月上旬には終わります。

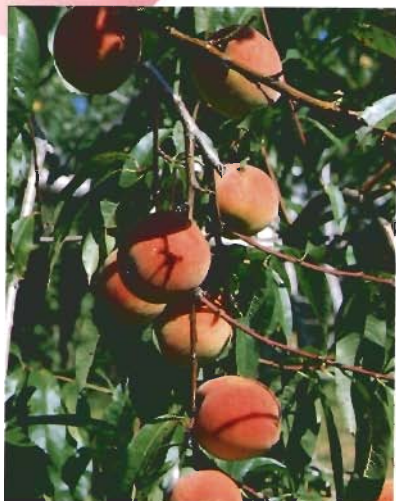
◆支柱立て

果実が大きくなると重みで次第に枝が下がるので、枝折れ防止のため9月上旬ごろに支柱をします。

◆病害虫

シンクイムシ、キジラミ、ハバチ、赤星病など、初期発生に注意し防除します。

モモ =バラ科サクラ属=



「モモクリ3年」と言われているようにモモは実をつけるのが早い果実ですが、寒さにはあまり強くないので、特に5～6年生の若木のうちは大枝ごとに枝を集めてコモをかけて縛るなど凍害から守ってやるのが大切です。

◆主な品種

白鳳、大久保……花粉を持っているので1本でも結実します。

砂子早生、倉方早生……花粉がないので、結実させるためには開花時期がほぼ同じ他品種を混植する必要があります。

◆植え付け

苗木（幼木）の長さにもよりますが、苗の上部1/3ほどの充実した芽の上で切り、根元にわらを敷くなど

して乾燥を防ぎます。混植する場合は3～4mほど離して植え付けます。

◆施肥

春は融雪後できるだけ早くに果樹用化成肥料を、秋は鶏ふん、落葉、パーク堆肥などの有機質肥料を施すとよいでしょう。

樹が小さいうちは幹の周りに浅く施します。次第に根が広がってくるので、樹冠よりやや広めにばらまいて軽く耕します。この時あまり偏らないように注意しましょう。

幼木の間は樹の下に草が繁ると生育が劣るのでこまめに除草しましょう。

◆せん定

仕立て方は、ピラミッド型の主幹形にすると、枝の広がりを抑え、ある程度樹



3～4年目のイメージ

成木のイメージ

高を低くできるでしょう。

モモは生長が盛んで副梢が多くでるので、込みすぎる枝や強すぎる枝を間引いて日当たりをよくしてやります。また、下部の大枝の発生が少ないので、できるだけ切り返しせん定をし、大枝の元のほうに枝を出させて、果実をならせるようにします。なお、モモは枝先が枯れている場合が多く、この場合はできるだけ元気のよい芽のところまで切り下げます。

◆結果習性

今年伸びた新梢の葉のわきに花芽と葉芽をつくり、翌年開花して果実をつけます。

◆支柱立て

果実が大きくなると重みで次第に枝が下がり、時には折れたり裂けたりするほか、日当たりも悪くなったりするので、枝が強くなってきたら支柱を立てたり、枝をつり上げたりしましょう。

◆摘果

發育が悪く形が悪いものや病害虫の被害果などを摘果し、大きく形のよい果実を残します。時期は6月中に終えます。残す果実の数は果実がなっている枝の長さによって決めます。

長果枝（30cm以上の枝）……2個（特に充実したよい枝は3個でも可）
中果枝（20～30cmの枝）……1個（特に充実したよい枝は2個でも可）
短果枝（15cm以下の枝）……ならせないほうがよいでしょう

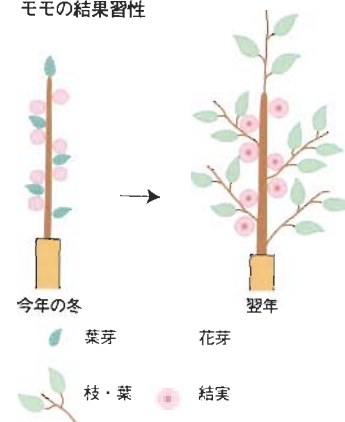
◆袋かけ

摘果が終わり次第、7月上旬までに行います。収穫の10日ほど前に袋の下を少し破って果実が少し見える程度にして4～5日おいて、その後に袋を全部はずすとよいでしょう。

◆病害虫

縮葉病……4月中旬に石灰硫黄合剤を散布して防除します。
アブラムシ……落花後、5月中旬から6月下旬ころ、殺虫剤を散布します。
モモシンクイガ……袋かけで防除します。

モモの結果習性



スモモ (プラム、ハタンキョウ、ブルーなど) =バラ科サクラ属=



「スモモ」の「ス」は「スッピン」や「スアシ」の「ス」と同じ「何もついていない」ことを意味する接頭語で、モモの果皮についているウブ毛がないものという意味です。

◆主な品種

大石早生、ソルダム、ヨーロッパスモモ（ブルー）のトレジディなどは自家不結実性なので、他の品種を植える必要があります。また、他家不結実性の品種もあるので注意しましょう。（ハタンキョウ、ビューティ、ヨーロッパスモモのツアー、シュガー、スタンレイなどは自家結実性）

◆植え付け

苗木（幼木）の長さにもよりますが、苗の上部1/3ほどの充実した芽の上で切り、地面に近いところから枝を伸ばします。根元にはわらを敷くなどして乾燥を

防ぎます。混植する場合は3mほど間隔をあげましょう。

◆施肥

春は融雪後できるだけ早くに化成肥料を、秋は魚かす、米ぬか、骨粉などの有機質肥料を施します。樹冠よりやや広めにばらまいて軽く耕して土と混ぜます。幼木の間は草に養分や水分を奪われやすく樹の生育を悪くするので、除草をしたり、根元に雑草を刈って敷くとよいでしょう。

◆せん定

若木のうちは、込みすぎる枝や強すぎる枝を重点的に切ります。

成木後も同じく切りますが、弱った枝を間引き、長い新梢は切り詰めるなどします。

比較的コンパクトに仕立てられる変則主幹形を目標にすると下記ようになります。

2年目……心枝は1/3ほど切り詰め、その下に角度のよい枝を2～3本ほど主枝候補枝として配置します。

2年目のイメージ

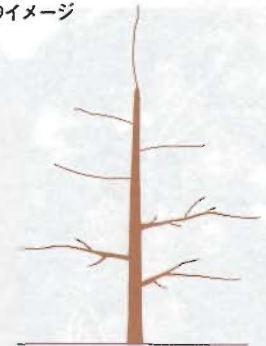


3年目……心枝は2年目と同じ。新たにやや弱めの枝2～3本を主枝候補枝とします。2年目に主枝候補枝とした以外の枝は切り落としします。

4～5年目……3年目と基本的に同じ。主枝は5～7本に整理します。結果枝は軽く切り返して短果枝をつくれます。

成木……主枝と競合する枝はせん定し、各枝に結果枝をつけるために、長果枝をやや弱めに切り返します。また、結果母枝は常に更新して小さく維持します。

3年目のイメージ



4～5年目のイメージ



◆摘果

適期は6月中旬から下旬ころ（落花後3～4週間後）の果実が小指大になったころです。

残す果実の数は、比較的果実が大きならない大石早生やビューティは6cmくらいに1果、果実が大きいソルダムやサンタローザは8～10cmに1果程度が適当でしょう。

◆袋かけ

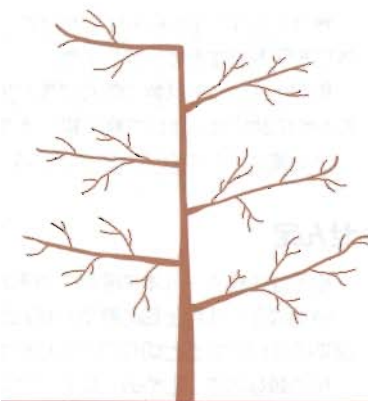
摘果が終わり次第、7月上旬までに行います。収穫予定の2週間ほど前には袋を取り除きます。

◆病虫害

袋かけをしない場合は夏場にシンクイムシ類が発生しやすいので、7月上旬から8月上旬にかけて2～3回殺虫剤を散布します。

この他、害虫ではコスカシバ、病気では灰星病、ふくろみ病に注意します。

成木のイメージ



オウトウ (サクランボ) =バラ科サクラ属=



オウトウは「甘果オウトウ」と「酸果オウトウ」があり、一般に私たちが「サクランボ」として食べているのは「甘果オウトウ」のことです。「酸果オウトウ」は酸味が強く、主にジャムなどの加工用として作られますが、よく熟すと生食も可能です。「酸果オウトウ」は、果実の大きさが「甘果オウトウ」の半分ほどですが、自家結実性で雨による実割れもほとんどありません。

ここでは、私たちに一番なじみの深い「甘果オウトウ」を取り上げます。

◆主な品種

佐藤錦、南陽、ナボレオン、北光（水門）、日の出、高砂など

◆植え付け

苗木（幼木）の長さにもよりますが、苗の上部1/3ほどの充実した芽の上で切り、根元はわらを敷くなどして乾燥を防ぎます。

自家不結実性が強いので、結実させるためには必ず他品種も植えましょう。また、佐藤錦と南陽、日の出と高砂、佐藤錦と黄玉などのように異品種の交配であっても品種の組み合わせにより結実しないものがあるので注意しましょう。植え付け間隔は4～5mほどとります。

◆施肥

春は融雪後できるだけ早く化成肥料を施し、収穫後に速効性の肥料を施すとよいでしょう。

秋は10月中旬から下旬にかけて、鶏ふん、落葉、パーク堆肥などの有機質肥料を与え、1年おきに石灰を施すとよいでしょう。

樹が小さいうちは幹の周りに浅く施します。年数とともに次第に根が広がってくるので、樹冠よりやや広めにばらまいて軽く耕します。この時、あまり偏らないように注意しましょう。

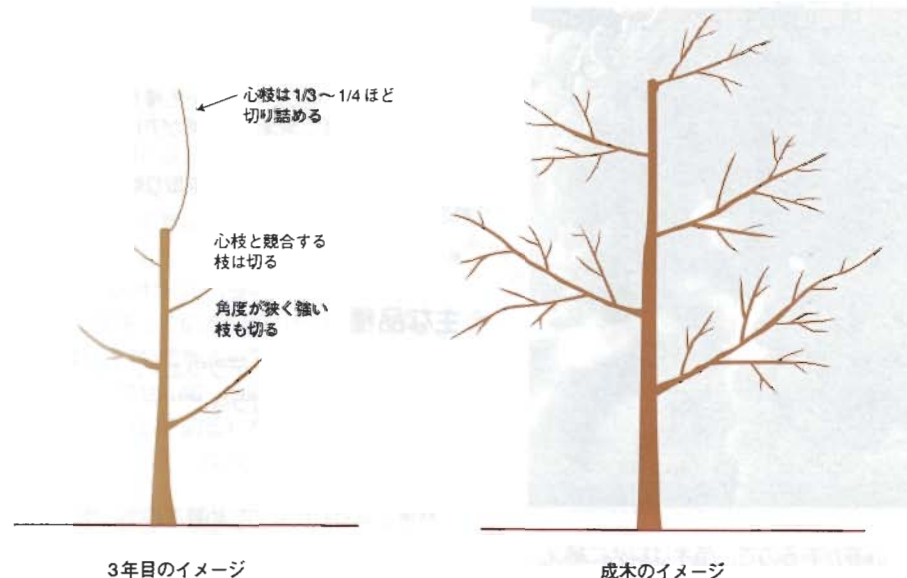
施肥量は地力や樹の大きさに加減しますが、少なめの方が無難です。

◆せん定

樹形は主枝4～5本の変則主幹形がよいでしょう。

時期は3～4月上旬の寒気が緩んだころ、芽が動く前に行います。伸び方の強い太い枝は生育最盛期の8月に切ると切り口が治りやすく、枯れこみも少ないでしょう。

桜の類なので、むやみに切ることは好ましくありませんが、それでは樹が高くなりすぎて枝も込



み合うので、若木のうちから徒長枝や込みすぎる枝、弱った枝などを間引く程度の軽いせん定を計画的にすることが大切です。

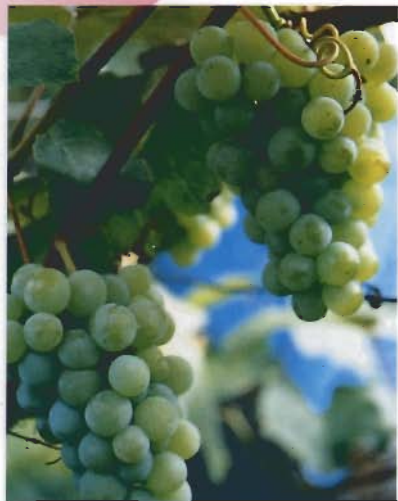
実がなってある程度樹が落ち着いたら樹高を止め、その後は枝の込み合った部分の間引きをしますが、樹が大きくなりすぎるからといって強いせん定をしたのではいつまでも実がならないので、せん定だけではなく枝を引き下げるなどして形を整えるようにしましょう。

◆害虫

オウトウだけに発生するオウトウミバエが特殊な害虫です。発生時期は花が散って果実が小指先大になったころ、土中で越冬していた幼虫が孵化して成虫（小型のハエくらい）が発生して果実に卵を産み付けます。それが果実に侵入し、果実を食害します。防除法としては、落花後から1週間毎に殺虫剤を散布します。

また、ナメクジに似た小さな幼虫オウトウハバチは殺虫剤に弱く、発生を見てからでも防除が可能です。

ブドウ =ブドウ科ブドウ属=



世界で最も多く生産されている果実で、全世界の7割以上がワイン用品種で占められていますが、日本では9割ほどが生食用です。

赤ワインは、黒い色のブドウを皮も種もついたままつぶして発酵させます。果皮に含まれる色素がアルコールで溶かされて果汁が赤く染まります。

白ワインは、白いブドウか果皮を取り除いた黒ブドウからも作れます。

◆主な品種

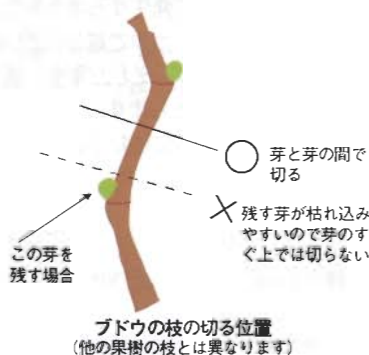
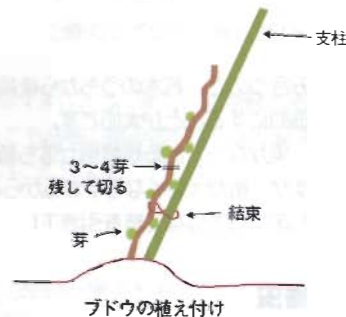
キャンベルアーリー、デラウェア、バッファロー、ポートランド、ナイヤガラなど

◆植え付け

寒害と雪折れ防止のため蔓を地面に倒して寝かせる

必要があるので、苗木は斜めに植え、良い芽を3～4芽残して切り、必ず支柱を立ててやります。発芽後、生育のよい芽を2芽残して他の芽は切除します。

降雪前に地面に降ろした枝は翌春（融雪後）芽が動き出す直前に棚や垣に上げ、枝を平均に配置します。



◆施肥

春は融雪直後から効きめの速い化成肥料を、秋は収穫後に遅効性の堆肥、鶏ふん、油かすなどの有機質肥料を施します。

施肥量は土質や樹齢、樹の生育状態にもよりますが、家庭用ブドウづくりは一般に強せん定になりやすいのでやや少なめの方が無難でしょう。土壌酸度はPH6.5くらいがよく、やや酸性土壌に弱いので、1年おきに石灰を1～2kgほど施すとよいでしょう。

◆結果習性

今年伸長した枝の葉の付け根に芽ができて、翌年の発芽後、伸びた枝の3～5枚目の葉の基部に花穂がつきます。

◆せん定

晩秋、11月中旬から下旬ごろの根雪前に行います。春

のせん定は切り口から樹液が出て、樹が弱るので絶対にしてはいけません。

残す芽の目安は、3.3m²当たり充実した芽が種類により25～30芽、デラウェアは40芽くらいとし、一定面積あたりの芽の数は多すぎないようにします。

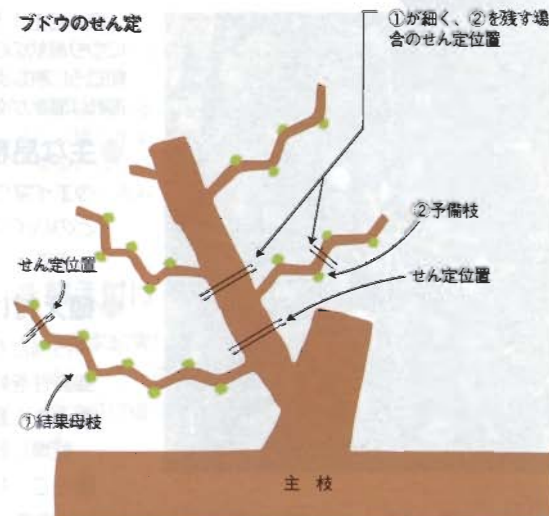
方法は①短梢せん定（今年伸びた枝を2～3芽残して切る）②中梢せん定（今年伸びた枝を4～5芽残して切る）③長梢せん定（今年伸びた枝を6芽以上残して切る）を組み合わせると棚や垣根などへ均等に配置します。

切り方は、乾燥や凍害を防ぐため

芽と芽の中間で切り、主枝に一番近い枝だけを残し、今年伸びた他の枝は芽を残さずに切り落とします。ただし、主枝に一番近い枝が細い場合は予備枝に2芽ほど残します。

仕立て方は、土地や道路の境界、庭の隅を利用する垣根仕立て、軒先や物置などに棚を作ってはわす棚仕立てのほか、1本の支柱に蔓を絡ませる棒仕立てなどがあります。

ブドウのせん定



◆芽かき

晩霜の被害のなくなる5月下旬、芽が5～6cmに伸びたころ、せん定もれの枝の芽、弱い芽や副芽などを手でかき取ります。

◆摘房

7月中旬から下旬ごろに間引きします。

残す房の目安はデラウェアで1本の結果枝に2～3房、キャンベルアーリーやナイヤガラなどその他の品種は1～2房とするのがよいでしょう。

◆病害

黒とう病……5～8月に雨が多いと発生し、新梢に楕円形の黒斑ができ、果実には黒色の円形小斑点ができてへこみます。

褐斑病……高温多湿の年の8月から晩秋にかけて、特にキャンベルアーリーに発生しやすく、葉に褐色、赤褐色の病斑をつくり、ひどくなると葉が黄変し落葉します。

ブルーベリー = ツツジ科スノキ属 =



成木でも1.5m程度の低木で、5月下旬から6月中旬ごろにつり鐘状の白い花が咲き、果実は青く7月下旬から8月下旬ごろに熟します。乾燥に弱いので真夏の日照りが続くようであれば灌水が必要です。

◆主な品種

ウエイマウス、ジューン、ランコカス、ハーバートなどのハイブッシュ系のブルーベリーが道内の栽培に適します。

◆植え付け

日当たりと排水がよいところに植え込みましょう。強酸性を好むので植え穴に半分ほどピートモスを入れ土とよく混ぜて、やや浅めに植え込みます。

乾燥に弱いので、植え付け後は根元に5cmほどの厚さで、わら、オガクズ、バーク堆肥などを敷くよう

にします。また、幼木の間は雑草にも負けやすいので、常に除草に気をつけましょう。

自家結実性で1品種でも結実しますが、他品種を混植すると種子がよく入って、果実が大きくなり熟期も早まります。混植する場合は1.5mほど間隔をあけます。

◆施肥

春、融雪後早めに行い、施肥後に株元を浅く中耕し乾燥防止と酸性を保持するためピートモスを敷いてやります。

肥料は化成肥料を主体とし、早春に7割、6月下旬から7月上旬に3割追肥するとよいですが、植え付け後3年くらいまでは枝があまり伸びず、根もあまり広がらないので肥料過多に注意します。

なお、酸性土壌を好むツツジ科植物なので、石灰や鶏ふんを与えてはいけません。

◆せん定

4月上旬から中旬の発芽前に行います。植え付け後3年くらいまでは枝先の枯れた部分や花芽をせん定して、果実をならせない程度になるべく弱いせん定を行い、株に力をつけるようにします。

5年ほどで主軸枝が12~15本程度の叢状形の樹形ができるようにし、維持を図ります。

成木は5~6年以上せん定しないと結果枝の伸長が劣り、枝が老化して果実が小さくなるので、地際から間引いて若い枝に更新します。

花芽は結果枝の先の方に多くつくので先刈りはしないようにします。

◆病害虫

病害虫の発生は極めて少ないですが、カンカーという病気は枝を枯らすので病患部を切除します。害虫はコガネムシのほか、ハマキムシが葉や果実を食害するので、必要に応じて防除します。

ハスカップ (和名クロミノウグイスカグラ) = スイカズラ科スイカズラ属 =



成木でも1.5~2mほどの低木で、挿し木で容易に増やすことができ、5月中旬から6月上旬ごろ、ラッパ状に黄白色の花をつけます。

果実は開花後40日前後で成熟し、6月下旬から7月下旬ごろに収穫します。

果実にはビタミン類やカルシウム、鉄などのミネラルなどの成分を多く含み、栄養的にも優れています。

◆植え付け

自家結実性が劣るので、他品種を混植した方がよいでしょう。その場合、1.5~2mほど間隔をあけます。植え付け後は根元にわらを敷くなどして乾燥を防ぎます。

◆施肥

発芽が早いので、春、融雪と同時に化成肥料を施し、軽く耕して土と混ぜます。秋は10月下旬すぎに魚かす、米ぬか、鶏ふんなどの有機質肥料を施すとよいでしょう。

根が浅く乾燥にやや弱いので肥料が隠れる程度に中耕します。また、株元にわらを敷くと果実の汚れ防止、雑草の発生防止などに効果があります。

◆せん定

春、発芽前に行います。樹形は整枝法により多少異なりますが、植え付け後3年くらいまでは、自然に樹を伸ばしてもかまいません。品質のよい果実は主に3~4年生の主軸枝になりますが、6年生以上になると果実が小さくなるなど成りが極端に悪くなるので、地際から間引いて4~5年で若い枝に更新し、主軸枝を8~10本に維持します。また、枝が込み合っているところを間引いてやると、日当たりがよくなり新梢がよく伸びて花がよくつくようになります。

なお、株の高さを高くし、主軸枝を5本ほどに制限して、長期間同じ枝を使って収穫する方法もあります。

◆病害虫

病気はうどんこ病、灰色かび病などで、一般の防除法に準じて行います。

害虫はアブラムシ、カイガラムシ、ハマキムシ、コガネムシなどで、必要に応じて防除します。

カーランツ (和名フサスグリ、カリンスなどともいう) ＝ユキノシタ科スグリ属＝



成木でも1.5mほどの低木で、挿し木で容易に増やすことができます。

花は品種により5月中旬から下旬ごろに咲き、果実は7月中旬から8月上旬ごろに熟します。

◆主な品種

レッドレーク、ロンドンマーケット、レッドダッチ、ボスコープジャイアント、ローズオブホーランドなどがあり、果実の色は赤色、淡黄色のほか、黒っぽい色のものがあります。

◆植え付け

自家結実性なので一つの品種だけでも結実しますが、混植する場合は1.5mほど離します。植え付け後は根元にわらを敷くなどして乾燥を防ぐようにします。

◆施肥

発芽が早いので、春、融雪と同時に化成肥料を施し、軽く耕して土と混ぜます。秋は10月下旬すぎに魚かす、米ぬか、鶏ふんなどの有機質肥料を施し、2年おきに石灰を1株あたり250gほど施します。

根が浅く乾燥にやや弱いので、肥料が隠れる程度に中耕します。また、根元にわらを敷くとドコハネなどによる果実の汚れ防止、雑草の発生防止などに効果があります。

◆せん定

適期は3月下旬から4月中旬の発芽前ですが、植え付け後3年間ほどは株を大きくするために枝をあまり切らないようにします。4年目以降は込んでくるので、日当たりと風通しが悪いところを切り詰めます。4～5年で15本ほどの主軸枝がつくられ完成します。果実の大きさや収量は3～4年枝がピークで、5年生以上の枝は結実が悪くなるため、地際から間引いて若い主軸枝に更新します。また、交差している枝、垂れ下がっている枝、込み合ったところなどをやや強めに間引くようにせん定します。

◆結果習性

今年伸びた枝の腋芽に花芽がつき、翌年に開花結実します。

◆病害虫

比較的病害虫の少ない果実ですが、主に発生する病害虫は斑点病と発疹さび病、ナミハダニなどで、早めに防除しましょう。また、除草は病害虫の誘発を防止する効果もあるので収穫後も軽い除草を行いましょう。

マルメロ＝バラ科シドニア属＝



果実は生食用には向きませんが、ジャムやシロップなどの材料に使われるほか、果実自体が腐れにくく長い間よい香りを出し続けるので、室内や自動車の車内などに置いておくと芳香剤代わりに使えて重宝します。

成木の樹高は2～3m、開花時期は5月下旬から6月上旬ごろで、果実の収穫は10月中旬から11月初めごろまでです。

◆主な品種

スミルナ……自家結実性が低いので、結実のためには受粉樹として在来種を植える必要があります。混植する場合、2mは間隔をあけます。

在来種……自家結実性なので、1本でも結実します。

◆植え付け

苗木の大きさにもよりますが、地上から約60cmのところを切り、乾燥に弱いので十分水やりをするほか、根元にわらを敷くなどします。

◆施肥

春、融雪後まもなく魚かす、米ぬか、鶏ふんなどの有機質肥料を施し、軽く耕して土とよく混ぜます。

◆せん定

適期は3月中旬から3月下旬の発芽前です。

植え付けの際に切った位置から主枝が出て、そこから1年毎に20～30cm間隔で上方へ左右方向違いに主枝がつくられるようにせん定し、主枝を3～4本とする変則主幹形とするのがよいでしょう。垂主枝は1本の主枝に2～3本つける程度がよいでしょう。成木になると短果枝が多くなるので、弱っているものは若い枝に更新するとともに、枝が下がりやすいので主枝の先端の切り返しを毎年行います。

◆摘果

開花後、2～3週間でいきます。1果当たり50～60枚の葉がつくように大きめのものを残すようにします。

◆病害虫

主に発生する病気は腐らん病と黒星病など、害虫はハマキムシ、シンクイカ類、ハダニ類などで、早めに防除します。

緑の相談

緑あふれる街づくりを……花づくり庭づくりのお手伝いを……
四季を通じてアドバイスします

豊平公園緑のセンター

豊平区豊平5条13丁目

- 開館時間
午前8時45分から午後5時15分まで
- 休館日
毎週月曜日（月曜日が休日の場合はその翌日）
12月29日から翌年の1月3日まで

【緑の相談】

- 相談日・時間
休館日を除く毎日
午前10時から午後4時まで
☎ (011)811-9370

緑の図書

午前8時45分から午後5時15分まで



百合が原緑のセンター

北区篠路町太平210番地外

- 開館時間
午前8時45分から午後5時15分まで
- 休館日
毎週月曜日（月曜日が休日の場合はその翌日）
12月29日から翌年の1月3日まで

【緑の相談】

- 相談日・時間
毎週水、木、土、日曜日
午前10時から午後4時まで
☎ (011)772-3511

緑の図書

午前8時45分から午後5時15分まで



〈温室観覧料〉

- 大人（高校生以上）……………130円
 - 小人（小・中学生）……………60円
 - 65歳以上・幼児……………無料
- ※敬老手帳などをご提示ください。

平岡樹芸センター

豊平区平岡4条3丁目45番地

- 開園期間
4月29日から11月3日まで
- 開園時間
午前8時45分から午後5時15分まで
- 休園日
毎週月曜日（月曜日が休日の場合はその翌日）
11月4日から翌年の4月28日まで

【緑の相談】

- 相談日・時間
毎週水、木、土、日曜日
午前10時から午後4時まで
※庭木など実物見本に即した相談が受けられます。
☎ (011)883-2891

緑の図書

午前8時45分から午後5時15分まで



麻生緑の相談室

北区北39条西5丁目（麻生総合センター内）

【緑の相談】

- 相談日・時間
毎週火、水、金、土曜日（祝日に重なる場合は、木曜日が代替相談日です）
午前10時から午後4時まで
☎ (011)757-1003

緑の図書

午前9時30分から午後5時15分まで



札幌市グリーンデータバンク

不要となった庭木、草花（球根、宿根草）を登録してください。欲しい方にあつせんします。
〈申込方式〉
○提供者は所定の申込書に記入してお申し込みください。（郵送でも可）
○受け取り希望者は、提供リストが緑のセンターに提示されますので、ご来館のうえお申し込みください。
受付期間：緑のセンター休館日以外
受付時間：午前9時～午後4時
〈申し込み・問い合わせ先〉
〒062 札幌市豊平区豊平5条13丁目
豊平公園緑のセンター ☎811-6568
※対象樹木、草花類の提供は無償です。

サッポロ さとらんど

開園時間

夏 期 (4月29日～11月3日)9:00～18:00

冬 期 (11月4日～4月28日)9:00～17:00

休園日 夏期/無休 冬期/月曜日

(月曜日が祝日の場合はその翌日)



さとらんどセンター

バターやソーセージなどの手づくり体験や、ビデオ、クイズ、図書を通して農業に親しむことのできるおもしろ情報室などでお楽しみください。絵本やあかちゃんルーム（授乳室）もありますので小さなお子さま連れでぜひどうぞ。



さとらんどガーデン

四季折々の花（ハーブ、ヒース、宿根草など約230種）とさわやかな香りを満喫してください。



風のはらっぱ

芝生の上でお弁当を広げたり、木製アスレチック遊具で子どもたちが遊ぶようすを見ながらぼんやり過ごるのもいいのでは。



ふれあい牧場

ウサギ、ヒツジ、ブタ、馬などとふれあえるエリア。

サッポロさとらんど市民農園のご案内



農業指導センター

農作物の栽培技術向上などのために試験研究を行っています。（見学は要予約）



炊事広場

約50名収容屋根付きサイト1基、8名用炊事サイト15基、自由炊事サイト6面（約800人利用可）グループやご家庭で自由にどうぞ。炭、網、材料はさとらんどセンター売店でも販売しています。



ふれあい農園

さとらんどで育てた野菜の収穫体験も実施しています（不定期・有料）。市民農園（貸農園）で親子でいっしょに畑作業や収穫の喜びを体験してみませんか。



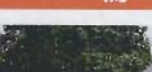
ファーマーズ・マーケット

市内農家で収穫した新鮮な野菜や果物、花などが直売されますので、お楽しみに（開催日は不定期）

ミルクの郷

牛の館、手づくり工房まきば館、ミルク館（牛乳工場）など、酪農について楽しく学び、体験することができます。

馬車

A photograph of a white horse pulling a covered wagon on a paved path. The wagon has a white canopy and is carrying several people. The background shows green trees and a white fence.

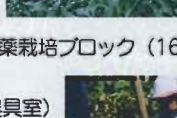
乗り物については夏期のみの営業になります。
天候、園内の状況によっては、運行時間が変更になる場合があります。
小学校入学前、65歳以上の方はSLバス、馬車、引き馬が無料になりますので、敬老手帳などお持ちください。
小学校入学前の方が利用される場合は保護者の方が付き添ってください。なお、引き馬は5歳以上70歳未満の方に限らせていただきます。
馬車、引き馬については、係員が危険と判断した場合、利用できない場合もあります。
レンタサイクル4輪に大人は2人しか乗れません。

ります。
になりますので、敬老
ください。なお、引き馬
ない場合もあります。

A long, colorful parade float, possibly a train or a decorated bus, is shown in a parade setting. The float is decorated with red, green, and white, and features a large 'REDA' sign on the front. The license plate reads '1971'. The float is moving along a paved road with trees and a clear sky in the background.

ります。
になりますので、敬老
ください。なお、引き馬
ない場合もあります。

※毎年春から秋までの貸し出しであるため、果樹をはじめ一般の樹木は植え込みできませんのでご了承ください。

- | | | |
|--------------|--|---|
| ● 名 所 | サッポロさとらんど市民農園 |  |
| ● 場 所 | 東区丘珠町584番地2 サッポロさとらんど内 | |
| ● 利 用 期 間 | 5月3日～11月3日 午前6時～午後7時 | |
| ● 利 用 料 金 | 1区画 11,000円 | |
| ● 募集区画数 | 80区画 <1区画の面積は50㎡(5×10m)>
・世帯または団体の単位で1区画だけ利用できます
・春起こしを行い、区画割して提供します
・農薬を使用できる一般ブロック(64区画)と無農薬栽培ブロック(16区画)があります |  |
| ● 利用できる施設・設備 | ・レストハウスみのりの家(休憩室、更衣室、貸し農具室)
・あずまや(ベンチ、洗い場、水飲み場)
・散水用の給水栓
・駐車場(平日は無料、土・日・祝日は有料) | |
| ● そ の 他 | ・栽培技術や方法の相談に随時応じています
・講習会を開催します
・スコップ、レーキ、じょうろ、バケツなどを無料で貸し出します | |
| ● 申し込み方法 | 毎年3月1日～3月31日
(広報さっぽろ等でお知らせします) | |
| ● 申し込み先 | 往復はがきに氏名(団体の場合は団体名と代表者名)、郵便番号、住所、電話番号、返信先を記入のうえ、サッポロさとらんどまで。3月31日必着。 | |
| ● 利用者の決定 | 応募数が募集区画を上回った場合は、抽選で利用者を決定するなどします

この他、利用条件等がありますので、お確かめのうえ、ご応募ください。 | |



札幌市都市緑化基金

緑あふれる街づくりのため都市緑化基金の募金にご協力をお願いいたします

都市の緑は、私たちの日常生活に四季おりおりの季節感や、心のゆとり、やすらぎとうるおいといったかたがえのない充足感を与えてくれるものです。

札幌市は、道路、公園などの公共施設の緑化をはじめ、市民の方々の協力を得ながら地域の緑化に努めて、現在、全国でも屈指の緑豊かな街になりつつあります。

しかし、街全体が緑と花と木陰につつまれた「ゆとりとうるおいのある街」を実現するためには、公園などの公共施設の緑だけではなく、個人の住宅や事業所の周辺などの私有地の緑化がぜひとも必要になってまいります。

札幌市都市緑化基金は、市民の皆様からご寄附いただいたお金を積み立て、その果実（利子）で私有地の緑化を進めていこうとするものです。

私たちの街札幌を次代の市民に誇れる緑豊かな魅力ある街にするため、「札幌市都市緑化基金」の積み立てに市民の皆様が暖かいご協力を賜りますようお願い申し上げます。

都市緑化基金はこのような事業を実施しています



記念樹プレゼント

市民を対象に、結婚、出産、新築といった人生の節目を記念して、ライラック、ツツジ、ウメなど10種類ほどの中から希望の苗木をもらってプレゼントしています。

応募は往復ハガキで。返信用ハガキが引き換えになります。

「広報さっぽろ」などでお知らせ。

ツタ苗の助成

目的／ツタで壁面などを緑化し、身近な緑を増やすため。
対象／市内の住宅、事業所など。
補助率／植え込み延長の30mまで、植え込み総本数の50%。
申し込み／春と秋の年2回。「広報さっぽろ」などでお知らせ。



ツタ緑化モデル施設の指定



緑物寮／豊平区中の島1条9丁目



小西信義邸／中央区宮の森3条11丁目



中野診療所／東区北13条東16丁目

ツタによる緑化推進の模範となるような市内の家庭、事業所などをモデル指定。



株式会社清野建設／中央区北3条東5丁目



ヴァンローゼ／中央区北3条西2丁目



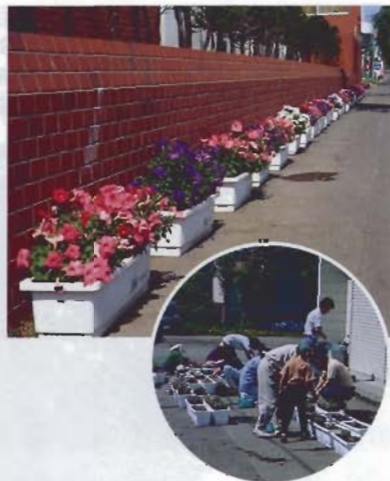
札幌競馬場／中央区北20条西15丁目



北海道建設株式会社札幌支店／中央区南15条3丁目

フラワーポットの貸し出し

対象／市内の町内会、自治会、商店街などの団体。
 個数／1団体あたり30個以上100個まで。
 規格／700mm×240mm×200mm。
 期間／3年間。
 申し込み／春、年1回。
 「広報さっぽろ」などでお知らせ。
 貸し出しの初年度のみ、培養土と花苗を1ポット
 あたり5株つけます。



その他の事業



コンテナツリーの設置



フラワースタンドの設置



緑化パネルの展示



花と緑に関する手引書の発行



各種緑化コンクール



花と緑のフォトコンテスト



花や緑に関する催し物への協賛など



園芸講習会

都市緑化基金の募金にご協力を!!

目標額

5億円

目標年度

平成19年度末

この小冊子も基金の果実の一部で作成しています



● 基金に関するお問い合わせは ●

札幌市環境局緑化推進部自然保護課

〒060 札幌市中央区南1条東1丁目 大通バスセンタービル1号館

TEL 211-2532

財団法人 札幌市公園緑化協会

〒060 札幌市中央区南1条東2丁目 OFFICE 1・2ビル

TEL 211-2579